

新規事業箇所調書

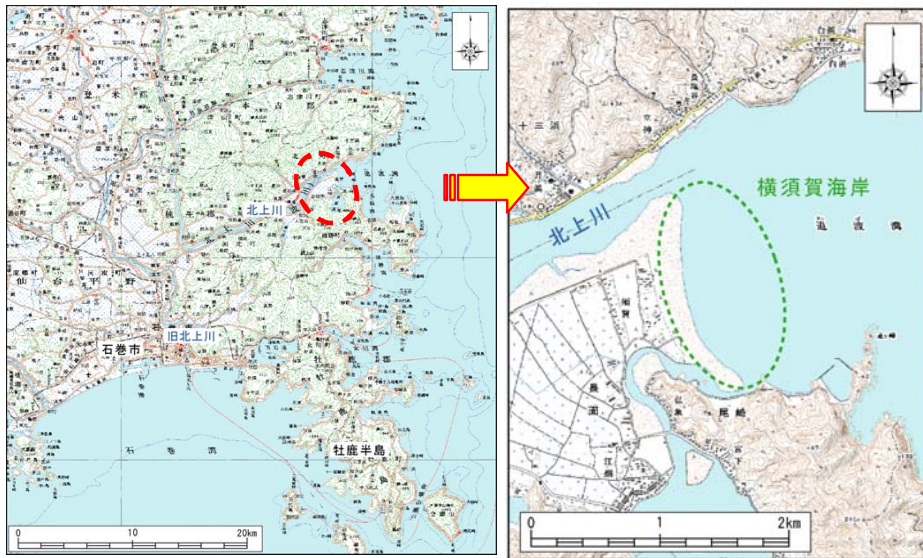
		調書作成年月日		平成20年 2月12日																				
		事業担当課		河川課																				
事業名	<small>よこすか</small> 横須賀海岸 侵食対策事業	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																			
施行地名	<small>ながずらあざすか</small> 石巻市河北町長面字須加地先			管理主体	宮城県																			
根拠法令	海岸法第1条，第3条，																							
事業概要	事業目的	<p>横須賀海岸は，宮城県北東部部追波湾に位置し，北上川及び長面湾の河口に挟まれた砂浜海岸であり，海岸一帯は，南金華山国定公園に指定されており，また夏期には海水浴場として多くの方々に利用されている。</p> <p>しかしながら，近年冬期風浪等により，汀線が著しく後退し，平成17年度には，冬期風浪による背後保安林流出等の被害が発生したため応急対策として捨石護岸工を施工している。また，平成18年度においては，平成17年度に施工した既設捨石護岸工が全面的に被災を受けており，平成18年度に海水浴場が中止に追い込まれている状況である。</p> <p>この急激な侵食の進行は，北上川河口部砂州の後退及び北上川河口部への沿岸漂砂卓越により砂浜が流出していることが判明している。</p> <p>以上のことから，早期に海岸侵食防止対策を実施し背後への浸水被害を防止するとともに，海水浴場を復活し海浜利用の促進を行い，県民生活の安定を早急に図る必要がある。</p>																						
	事業内容	<p>施工延長 754m 突堤工 延長300m，養浜量 190,000m³</p>																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[50 %]</td> <td>[50 %]</td> <td>[%]</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>18.0億円</td> <td>9億円</td> <td>9億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他		[50 %]	[50 %]	[%]	()	18.0億円	9億円	9億円	億円	億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他																				
	[50 %]	[50 %]	[%]	()																				
18.0億円	9億円	9億円	億円	億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成20年度～平成29年度(10年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 - 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成20年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成20年度～平成29年度(10年間)			用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成20年度												
事業期間	平成20年度～平成29年度(10年間)																							
用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成20年度																					
施設管理の予定	<p>海岸保全施設として，海岸管理者である宮城県が管理する。</p>																							

事業の必要性	上位計画等	土木行政推進計画（宮城県土木部） 三陸南沿岸海岸保全基本計画（平成16年策定）
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>社会経済情勢 宮城県では、仙台湾沿岸を中心に、港湾・漁港構造物等による沿岸漂砂の遮断や、河川からの土砂量の供給の減少に伴い砂浜の侵食が問題となっている。 また、想定されている「宮城県沖地震」の発生確率が30年内に99%と非常に高く、また津波高が最大で10mを超える大津波が想定（本吉町）され、現海岸保全施設をはるかに超える箇所が多く存在することから、津波対策を早急に講ずる必要がある。</p> <p>地元情勢、地元の意見 横須賀海岸の侵食問題解決のため県では学識経験者、地元関係者、漁業関係者等で構成した「横須賀海岸侵食対策研究会」（H18.1）を設置し、侵食のメカニズムを解明するとともに対策工について検討している。その中で、本対策工については委員会の中で了解されている。</p>
事業の有効性	事業効果	<p>想定される事業効果 県道人家等の背後への浸水被害を防止し県民生活の安定が図られると共に、海水浴場を復活し海浜利用の促進が図られる。</p>
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	現在、平成18年10月の低気圧による災害復旧工事を実施中であり、平成20年3月迄に完了する予定。
	代替案との比較検討	突堤工の代替案として、離岸堤や人工リーフ等の沖合施設が考えられるが、この工法は堆砂効果はよいが、経済性・景観上及び隣接する漁港区域内の漁場への影響があることから突堤工を採用している。
	コスト縮減計画	養浜材として、隣接する河口部や対岸の建設海岸（長塩谷・立神海岸）の海浜砂をサンドリサイクルを実施しコスト縮減を図る。

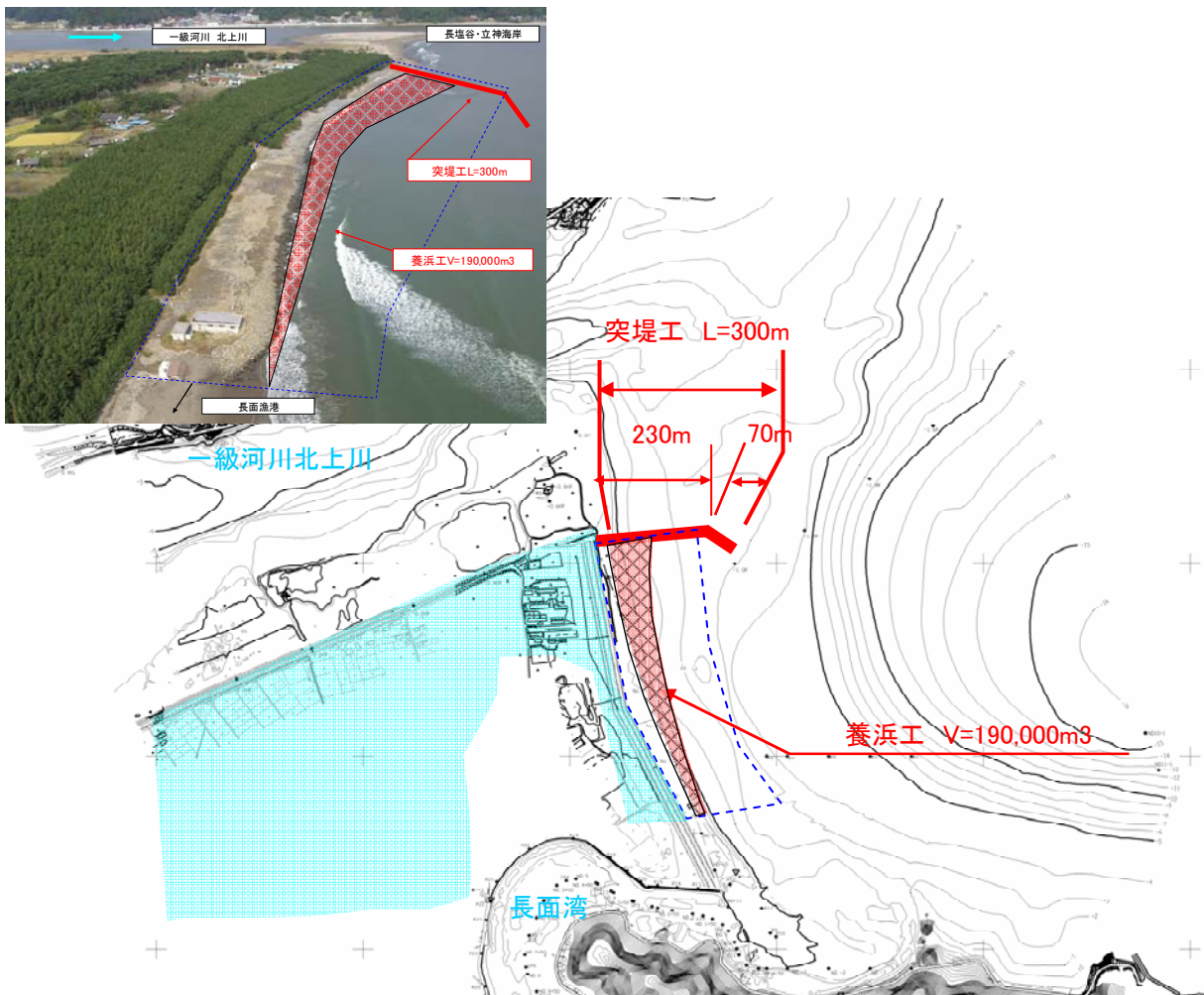
事業の効率性	費用対効果									
	根拠マニュアル： <u>海岸事業の費用分析指針（改訂版）</u> （平成16年版） 社会的割引率： 4.0 % 便益算定期間： 50 年 基準年：平成19年									
	費用項目	建設費	18.0 億円							
		維持管理費	0.09 億円/年							
	便益項目	総費用								
		現在価値（C）	19.9 億円							
	便益項目	浸水	0.32 億円							
		侵食	317.78 億円							
		残存価値	0.12 億円							
		総便益	318.22 億円							
現在価値（B）		318.22 億円								
費用便益比（B / C）		16.0								
環境への影響と対策	地域指定状況等									
	当海岸一帯は、南三陸金華山国定公園に指定されている。									
総合評価	事業箇所評価結果									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 （低順位にもかかわらず予算化された理由）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">海岸事業（新規事業箇所）</td> </tr> <tr> <td>1位 / 2</td> <td>1箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 （低順位にもかかわらず予算化された理由）	海岸事業（新規事業箇所）			1位 / 2	1箇所	
評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 （低順位にもかかわらず予算化された理由）								
海岸事業（新規事業箇所）										
1位 / 2	1箇所									
総合評価	対応方針									
	事業実施									

○添付資料

(1) 位置図

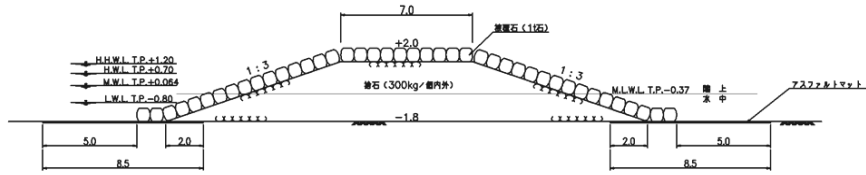


(2) 平面図

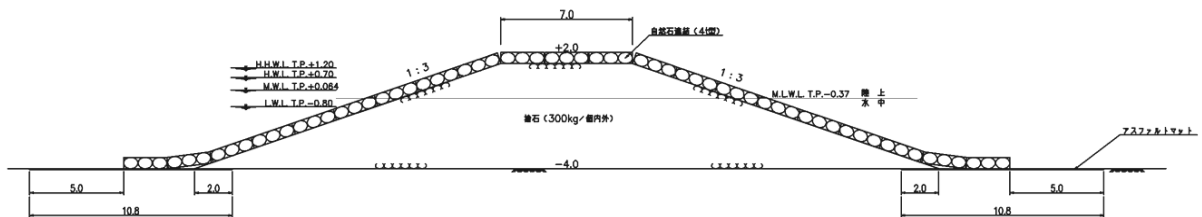


(3) 標準断面図

突堤(陸側L=230m)

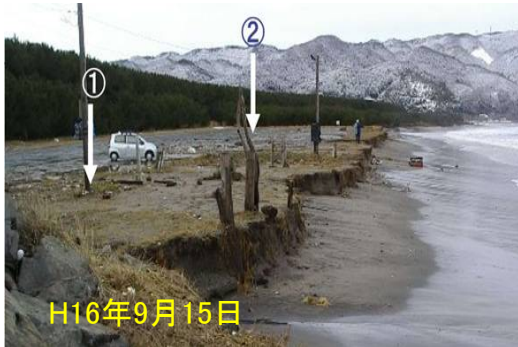


突堤(ヘッド部L=70m)



(4) 現況写真

近年の侵食状況(海岸線)



平成18年10月低気圧による被災状況



捨石護岸工の被災状況(北上川河口部側)

捨石護岸工の被災状況(駐車場部)